



Infectious Diseases Weekly Report City of Kita

感染症発生動向調査／東京都北区感染症週報

2013年46週 (平成25年11月11日～平成25年11月17日)

東京都北区感染症情報センター 電話 03 (3919) 3102

東京都北区では、東京都北区感染症発生動向事業実施要綱を定め、感染症法に基づく感染症の情報の収集、整理、分析及び情報の公開等を行っています。

東京都北区感染症週報では、感染症発生動向事業に基づき最新の感染症情報を公開しています。

東京都及び厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

○東京都感染症情報センターのホームページアドレス

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/index-j/>

○厚生労働省／国立感染症研究所感染症情報センターのホームページアドレス

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr-dl.html>

I 感染症別報告数 (週別推移)

1. 全数把握対象感染症(主なる)

対象疾患	2012年	2013年							
	累計	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	累計
(二類感染症) 結核	122	0	7	1	5	1	4	1	114
(三類感染症)	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	4	0	0	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	5	0	0	0	0	0	0	7
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
(四類感染症)	E型肝炎	1	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	1	0	0	1	0	0	0	3
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
(五類感染症) 全数報告	アメーバ赤痢	3	0	0	0	0	0	0	5
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	0	0	0	0	0	0	0	1
	急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1
	後天性免疫不全症候群	3	0	0	0	0	0	0	4
	ジルアアジア症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	1	0	0	0	0	0	0	2
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	風しん	9	1	0	0	0	0	0	58
	麻疹	1	0	0	0	0	0	0	1

2. 定点把握対象感染症(月報告) (五類感染症)

対象疾患	定点医療機関数	2013年							
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数
性器クラミジア感染症	1	0	0	1	0	0	0	0	2
性器ヘルペスウイルス感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
尖圭コンジローマ	1	0	0	3	2	2	2	2	1
淋病感染症	1	0	0	0	0	0	1	1	1
トリコモナス症(注)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒様疾患(注)	1	0	0	0	1	0	0	0	0

(注3) トリコモナス症、梅毒様疾患は東京都が独自に指定する疾患。

3. 定点把握対象感染症(週報告) (五類感染症)

対象疾患	定点 医療 機関数	2013年							
		43週		44週		45週		46週	
		報告数	報告数 / 定点	報告数	報告数 / 定点	報告数	報告数 / 定点	報告数	報告数 / 定点
RSウイルス感染症	7	2	0.29	2	0.29	2	0.29	3	0.43
咽頭結膜熱	7	1	0.14	1	0.14	1	0.14	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	2	0.29	5	0.71	1	0.14	5	0.71
感染性胃腸炎	7	28	4.00	52	7.43	50	7.14	100	14.29
水痘	7	6	0.86	0	0.00	3	0.43	7	1.00
手足口病	7	1	0.14	1	0.14	2	0.29	2	0.29
伝染性紅斑	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	7	5	0.71	4	0.57	6	0.86	3	0.43
百日咳	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	7	0	0.00	1	0.14	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
川崎病(注1)	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
不明発しん症(注1)	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
インフルエンザ(注2)	11	1	0.09	0	0.00	2	0.18	5	0.45
急性出血性結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00

(注1) 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

II 概況

■ 全数報告感染症

結核1件の発生の届出あり。その他感染症の発生の届出はなし。

■ 感染性胃腸炎

北区では、第45週7.14から第46週14.29と感染は急激に拡大し、集団発生の報告もされています。

例年の傾向から、今後の増加が予想されますので、家庭、学校及び施設等並びに食品を扱う方は特に手洗い等の感染予防対策を万全を期してください。

● 感染性胃腸炎の予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062005.htm>

■ 風しん

都内では昨年7月より患者の報告数が急増し、2013年第17週をピークに、その後減少しています。

ただ、依然と感染は続いており、北区での2013年の累計は58件となり、昨年までの年間総数を大きく超えています。

(※北区の年間総数 2010年1件、2011年0件、2012年9件) とくに、20~40歳の男性の比率が高くなっています。

妊婦への感染には特に注意してください。

● 東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2013/02/20n27500.htm>

● 風しんの発生状況(東京都2013年) <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/rubella/>

■ インフルエンザ

これから冬季に感染が急激に拡大することが予想されます。早めのワクチンの接種並びに家庭、学校等での手洗い、うがいの慣行及び咳エチケットに心がけ、感染予防に留意してください。

■ その他の定点感染症

RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌及び突発性発しん等の発生がみとめられますが、特異な発生とはなっていません。

III 医療機関からのコメント

■ (王子地区) 感染性胃腸炎が急増、ただし症状は比較的軽いのが特徴的。

■ (王子地区) 感染性胃腸炎が各年齢層で流行しています。

■ (赤羽地区) インフルエンザA型2名

■ (王子地区) インフルエンザは全員B型です。(3名)

IV 注意情報・お知らせ

■ 感染性胃腸炎の流行について

感染性胃腸炎の患者発生は、例年、12月の中旬頃にピークとなる傾向にあり、感染者が食品の調理に従事することによる食中毒も多発しています。手洗いの徹底や糞便・吐物の適切な処理等の感染予防対策に心がけてください。

● 厚生労働省Q&A <http://klsvinwm23.city.kita.lg.jp/wmcgi/WMBridge.exe>

● 感染性胃腸炎の予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062005.htm>

■麻しん

国では、麻しんに関する特定感染症予防指針を改正し、平成27年度までに麻しんの排除を達成する目標を掲げ、2013年4月1日より適用されることとなりました。

麻しんの定期予防接種の対象者で未接種の方は、できるだけ早くワクチン接種を受けましょう。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

●予防接種一覧 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/167/016751.htm>

●麻しんに関する特定感染症予防指針 <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002jsve-att/2r9852000002jsyl.pdf>

■都内における風しんの流行について

東京都では、これまでにない規模の風しん流行が継続してる旨の注意喚起を行いました。

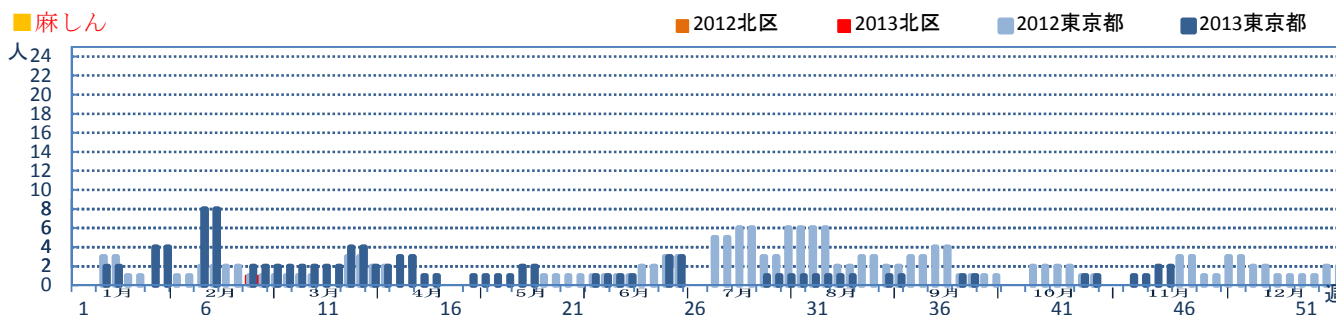
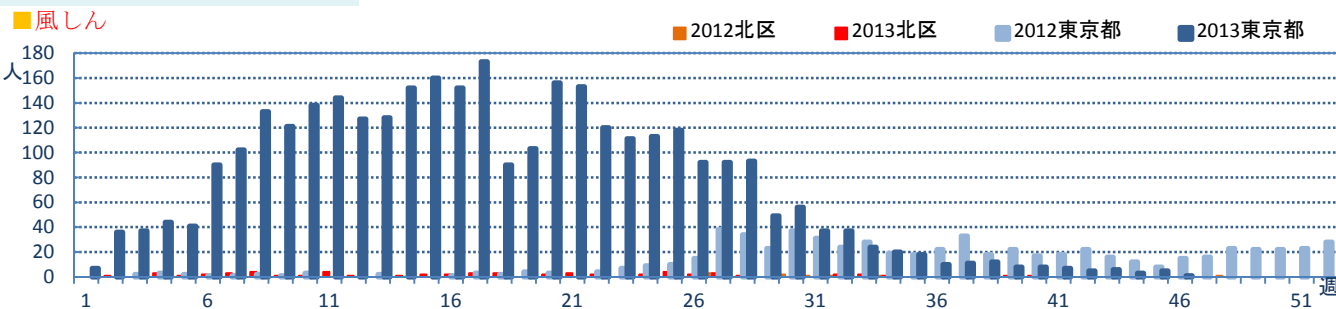
妊婦への感染には特に注意してください。

●東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2013/02/20n27500.htm>

●風しんの発生状況（東京都2013年） <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/rubella/>

V 感染症別グラフ

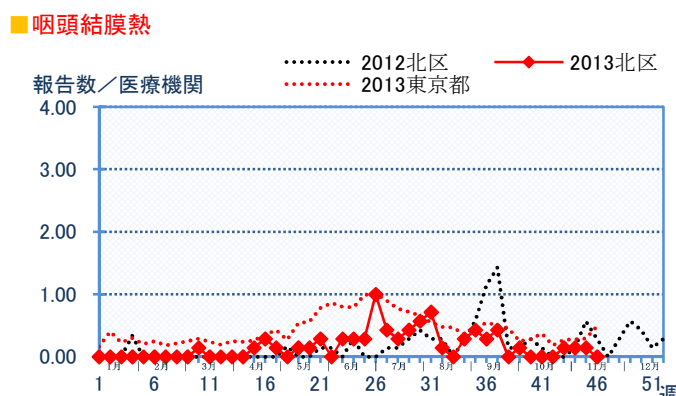
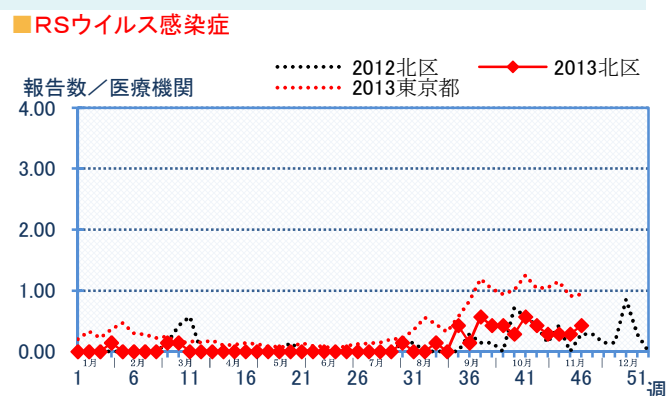
1.全数把握対象感染症



2.定点把握対象感染症(週報告) 内科定点



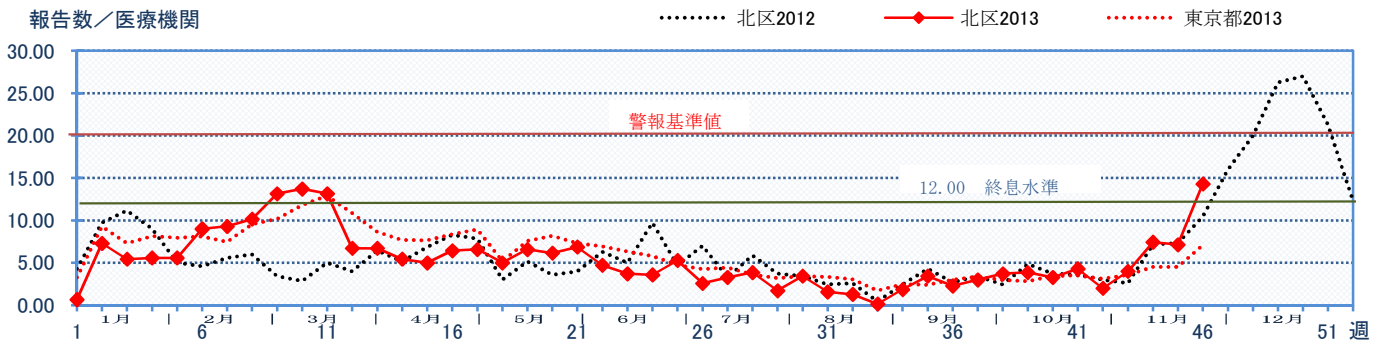
3.定点把握対象感染症(週報告) 小児科定点



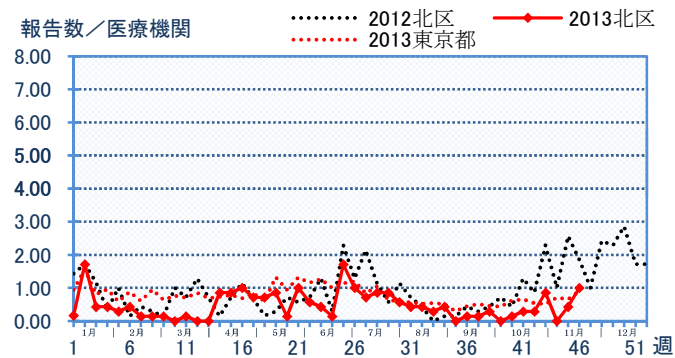
■ A群溶血性レンサ球菌



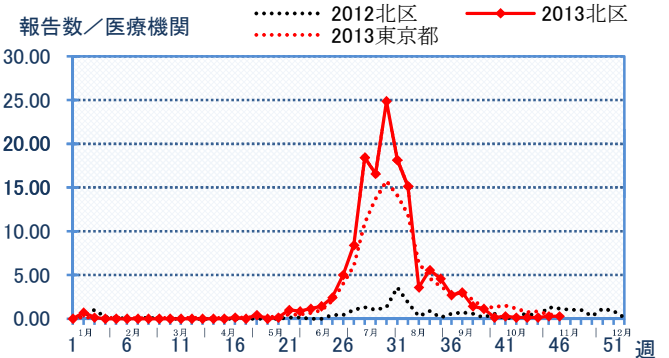
■ 感染症胃腸炎



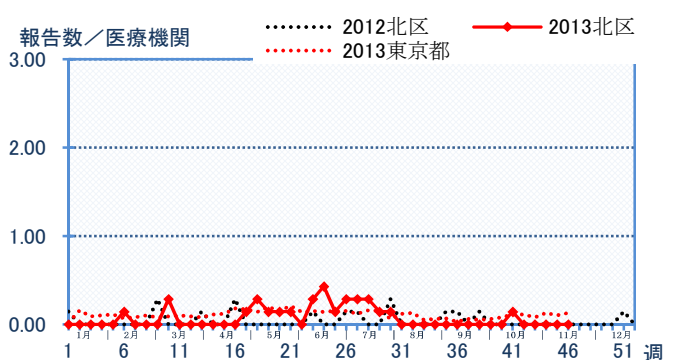
■ 水痘



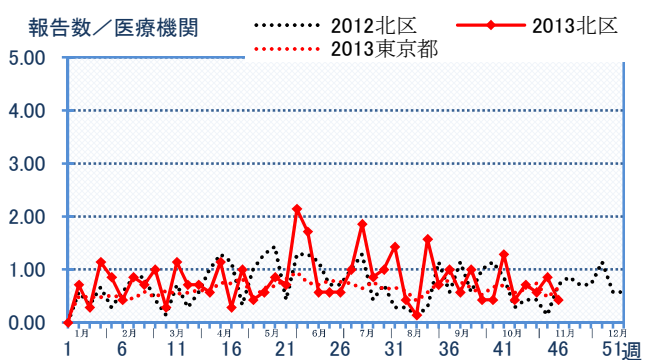
■ 手足口病



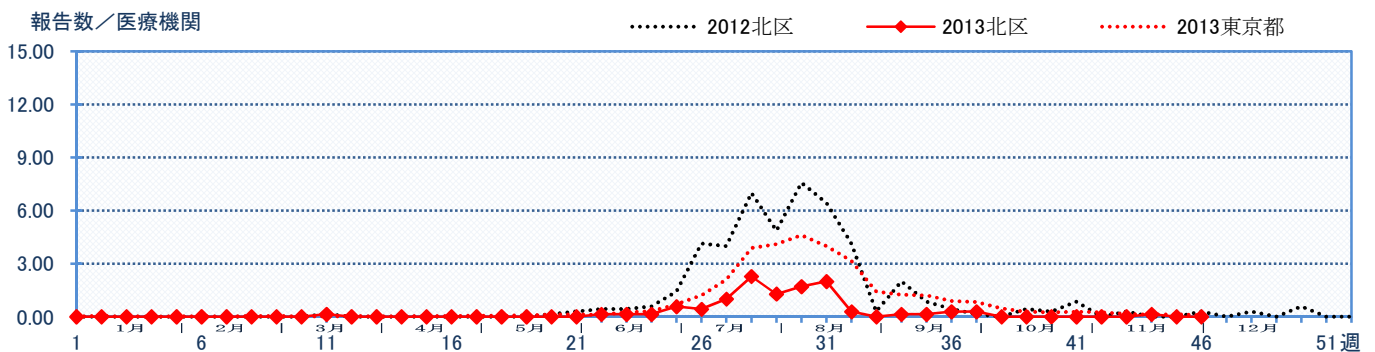
■ 伝染性紅班



■ 突発性発しん



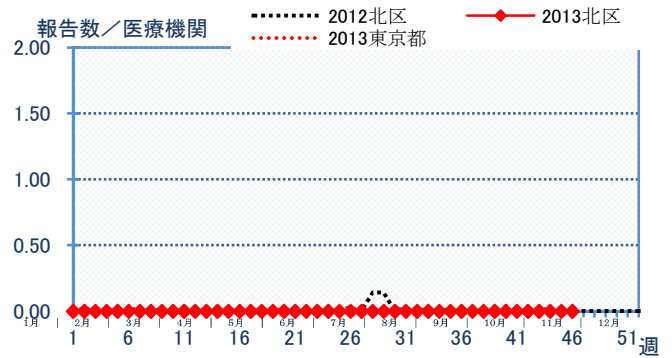
■ ヘルパンギーナ



■流行性耳下腺炎

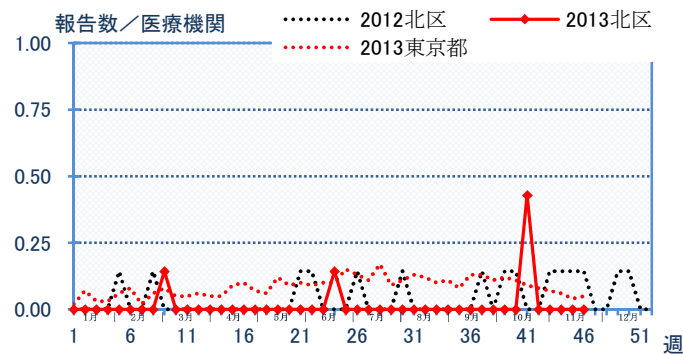


■百日咳

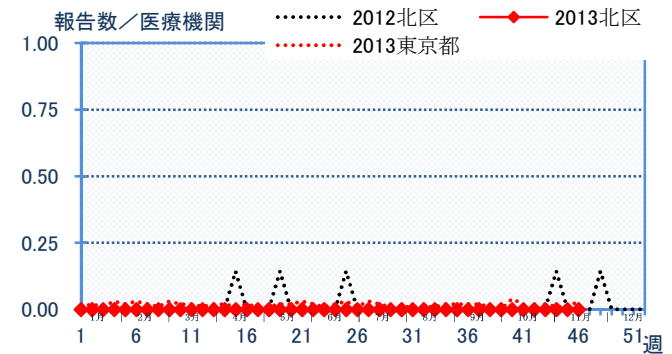


4.東京都独自指定疾患

■不明発しん症



■川崎病

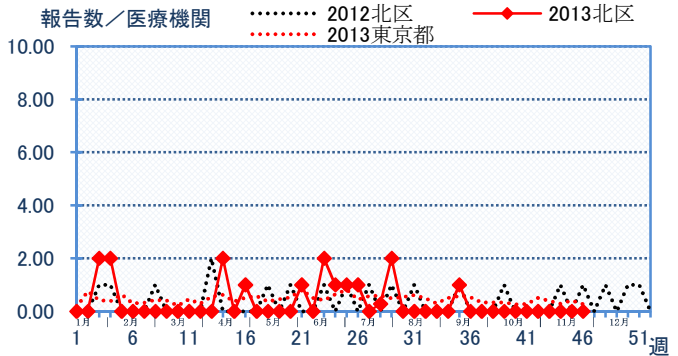


5.定点把握対象感染症(週別) 眼科定点

■急性出血性結膜炎



■流行性角結膜炎



6.定点把握対象感染症(月報告) 性感染症

定点報告感染症のうち、月報告の感染症である以下の性感染症については、該当月の結果は翌月始めに報告されるため、前月までの結果を掲載しています。

※2013年9月分は2013年第40週にて公開予定です。

■性感染症

